特 別 会 計

簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計は、富根、仁鮒地区を対象に給水事業を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	52,810,900	51,405,334	51,403,334	2,000	97.3	97.3
１８年度	146,647,950	140,530,149	122,553,249	17,976,900	95.8	83.6
比較増減	-93,837,050	-89,124,815	-71,149,915	-17,974,900	1.5	13.7
増減率	-64.0	-63.4	-58.1	-100.0	―	―

当年度の決算額は、歳入51,405,334円、歳出51,403,334円、歳入歳出差引額は2,000円となっている。前年度と比較して歳入89,124,815円（63.4％）、歳出71,149,915円（58.1％）それぞれ減となっている。これは、配水管布設工事の完了に伴い減となったことによるものである。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	21,567,000	21,161,958	21,161,958	0	0	100.0
国庫支出金	4,303,000	4,303,000	4,303,000	0	0	100.0
財産収入	10,000	10,357	10,357	0	0	100.0
繰入金	5,958,000	4,956,976	4,956,976	0	0	100.0
繰越金	17,976,900	17,976,900	17,976,900	0	0	100.0
諸収入	2,996,000	2,996,143	2,996,143	0	0	100.0
歳入合計	52,810,900	51,405,334	51,405,334	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は21,161,958円で、前年度と比較して1,647,740円（7.2％）の減である。

国庫支出金の収入済額は4,303,000円で、前年度、収入未済額となった繰越明許費の特定財源である。なお、１９年度としては国庫補助金を伴う建設事業等は行っていない。

繰入金の収入済額は4,956,976円で、前年度と比較して2,119,168円（74.7％）の増となっている。これは、一般会計1,576,976円及び基金3,380,000円からの繰入金である。基金繰入は、富根簡易水道施設災害復旧費等に充てるためである。

諸収入の収入済額は2,996,143円で、全額、消費税還付金である。

②歳出　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
簡易水道費	46,536,900	45,130,215	0	1,406,685	97.0
災害復旧費	1,700,000	1,700,000	0	0	100.0
公債費	4,574,000	4,573,119	0	881	99.9
歳出合計	52,810,900	51,403,334	0	1,407,566	97.3

簡易水道費の支出済額は45,130,215円で、前年度と比較し74,626,427円（62.3％）の減となっており、この主な要因は、配水管布設工事が完了したことによるものである。

災害復旧費の支出済額は1,700,000円で、富根簡易水道施設災害復旧費である。

公債費の決算額は4,573,119円で、利子相当額である。

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計は、事業認可区域を対象に下水道事業を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	2,979,709,000	2,739,497,661	2,720,050,185	19,447,476	91.9	91.3
１８年度	1,957,659,000	1,916,995,223	1,904,558,624	12,436,599	97.9	97.3
比較増減	1,022,050,000	822,502,438	815,491,561	7,010,877	-6.0	-6.0
増減率	52.2	42.9	42.8	56.4	―	―

当年度の決算額は、歳入2,739,497,661円、歳出2,720,050,185円、歳入歳出差引額は19,447,476円となっている。前年度と比較して歳入822,502,438円（42.9％）、歳出815,491,561円（42.8％）それぞれ増となっている。これは、起債の借換・公債費の償還によるものである。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	49,061,000	64,439,460	50,838,880	896,190	12,704,390	80.0
使用料及び手数料	328,981,000	341,312,277	332,890,960	707,160	7,714,157	97.7
国庫支出金	319,900,000	319,900,000	203,900,000	0	116,000,000	63.7
繰入金	537,671,000	531,000,000	531,000,000	0	0	100.0
繰越金	12,436,000	12,436,599	12,436,599	0	0	100.0
諸収入	9,360,000	9,431,222	9,431,222	0	0	100.0
市債	1,722,300,000	1,599,000,000	1,599,000,000	0	0	100.0
歳入合計	2,979,709,000	2,877,519,558	2,739,497,661	1,603,350	136,418,547	95.3

分担金及び負担金の収入済額は50,838,880円で、前年度と比較して10,061,140円（16.5%）の減となっている。これは受益者負担金の現年度分の減によるものである。また、不納欠損額は前年度と比較して210,560円の増となっている。

使用料及び手数料の収入済額は332,890,960円で、前年度と比較して476,223円（0.1%）の減である。なお、下水道使用料の賦課漏れ分の納付状況は、平成２０年３月末現在で、賦課漏れ160件、5,312,001円に対し、完納146件、分割納付7件などで、納入済額の合計が4,686,836円で納入率は88.2%となっている。

国庫支出金の収入済額は203,900,000円で、前年度と比較し77,200,000円（27.5%）の減となっており、これは事業費の減によるものである。

繰入金の収入済額は531,000,000円で、前年度と比較し5,000,000円（0.9%）の減となっている。主な要因は、前年度の制度改正により、資本費平準化債などを発行して元利償還の一部に充当しているためである。

市債の収入済額は1,599,000,000円で、前年度と比較し919,000,000円（135.1%）の増で、この主な要因は、繰上償還に伴う借換債1,044,300,000円によるものである。

※資本費平準化債について

下水道事業債の元利償還期間（政府資金３０年、公庫資金２８年。各最長５年据置可）と下水道処理施設の減価償却期間（概ね４４年）が異なっていることから、元金償還金と減価償却費との差について、構造的に資金不足が生じ、一般会計からの繰出により賄われている状況にある。この資金不足を補うためのものである。

後年度発生する資本費平準化債の元利償還金について、その５０%が交付税算入措置される。

②歳出　（単位：円、%）

区　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,141,621,000	882,347,283	245,900,000	13,373,717	77.3
公債費	1,838,088,000	1,837,702,902	0	385,098	99.9
歳出合計	2,979,709,000	2,720,050,185	245,900,000	13,758,815	91.3

総務費の支出済額は882,347,283円で、前年度と比較し243,773,954円（21.6%）の減となっており、この主な内容は、一般管理費のほか、終末処理場管理費、幹線工事等の下水事業費である。予算額には、前年度からの繰越額46,000,000円のほか、一部事業費245,900,000円を繰越明許費として翌年度へ繰越した分が含まれている。

予算流用は8件で、8,508,180円であった。

下水道事業における建設改良費と市債の借入額及び公債費の推移は次のとおりである。

（単位：千円）

区　分	１５年度	１６年度	１７年度	１８年度	１９年度
建設改良費	766,200	432,300	696,800	793,900	562,900
市債借入額	742,600	621,800	510,600	680,000	1,599,000
公債費（元金）	741,932	801,212	505,909	499,829	1,565,681
市債残高	9,242,812	9,063,400	9,068,092	9,248,263	9,281,582

※市債借入額及び公債費（元金）には、それぞれ借換債及びそれに伴う償還金が含まれる。

農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計は、事業認可区域を対象に農業集落排水事業を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	17,897,000	17,872,382	17,553,771	318,611	99.9	98.1
１８年度	17,970,000	17,758,136	17,632,185	125,951	98.8	98.1
比較増減	−73,000	114,246	−78,414	192,660	1.1	0.0
増減率	−0.4	0.6	−0.4	153.0	―	―

当年度の決算額は、歳入17,872,382円、歳出17,553,771円、歳入歳出差引額は318,611円となっている。前年度と比較して歳入114,246円（0.6％）の増、歳出78,414円（0.4％）の減となっている。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	80,000	80,000	80,000	0	0	100.0
使用料及び手数料	3,513,000	3,488,431	3,488,431	0	0	100.0
繰入金	14,178,000	14,178,000	14,178,000	0	0	100.0
繰越金	125,000	125,951	125,951	0	0	100.0
諸収入	1,000	0	0	0	0	―
歳入合計	17,897,000	17,872,382	17,872,382	0	0	100.0

分担金及び負担金の収入済額は80,000円で、前年度と同額となっている。これは農業集落排水受益者分担金である。

使用料及び手数料の収入済額は3,488,431円で、前年度と比較して41,982円（1.2％）の減である。

繰入金の収入済額は14,178,000円で、前年度と比較して577,000円（4.2％）の増となっている。これは、一般会計繰入金である。

繰越金の収入済額は125,951円で、前年度繰越金である。

②歳出　（単位：円、％）

区　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
農業集落排水費	6,324,000	5,981,681	0	342,319	94.6
公債費	11,573,000	11,572,090	0	910	99.9
歳出合計	17,897,000	17,553,771	0	343,229	98.1

農業集落排水費の支出済額は5,981,681円で、前年度と比較し78,414円（1.3％）の減となっている。この主な内容は、処理場等維持管理業務委託料の管理費である。

公債費の支出済額は11,572,090円で、前年度と同額となっている。

浄化槽整備事業特別会計

浄化槽整備事業特別会計は、二ツ井地域内を対象に浄化槽整備事業を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	169,662,000	169,507,370	169,224,704	282,666	99.9	99.7
１８年度	158,457,000	158,119,057	157,979,361	139,696	99.8	99.7
比較増減	11,205,000	11,388,313	11,245,343	142,970	0.1	0.0
増減率	7.1	7.2	7.1	102.3	－	－

当年度の決算額は、歳入169,507,370円、歳出169,224,704円、歳入歳出差引額は282,666円となっている。前年度と比較して歳入11,388,313円（7.2％）、歳出11,245,343円（7.1％）それぞれ増となっている。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
分担金及び負担金	8,531,000	8,531,565	8,531,565	0	0	100.0
使用料及び手数料	41,152,000	43,369,155	41,972,235	110,880	1,286,040	97.0
国庫支出金	21,852,000	21,852,000	21,852,000	0	0	100.0
繰入金	59,807,000	58,832,000	58,832,000	0	0	100.0
繰越金	139,000	139,696	139,696	0	0	100.0
諸収入	3,081,000	3,079,874	3,079,874	0	0	100.0
市債	35,100,000	35,100,000	35,100,000	0	0	100.0
歳入合計	169,662,000	170,904,290	169,507,370	110,880	1,286,040	99.2

分担金及び負担金の収入済額は8,531,565円で、前年度と比較して1,242,150円（17.0％）の増となっている。これは浄化槽設置事業費分担金である。

使用料及び手数料の収入済額は41,972,235円で、前年度と比較して2,428,708円（6.1％）の増である。不納欠損額は110,880円で、前年度と比較して38,560円の減である。

国庫支出金の収入済額は21,852,000円で、前年度と比較して5,693,000円（35.2％）の増である。これは循環型社会形成推進交付金である。

繰入金の収入済額は58,832,000円で、前年度と比較して9,920,000円（14.4％）の減である。これは、一般会計繰入金である。

繰越金の収入済額は139,696円で、前年度繰越金である。

諸収入の収入済額は3,079,874円で、消費税還付金である。

市債の収入済額は35,100,000円で、前年度と比較して10,100,000円（40.4％）の増である。

②歳出　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
事　　業　　費	124,959,000	124,572,198	0	386,802	99.7
公　　債　　費	44,703,000	44,652,506	0	50,494	99.9
歳　出　合　計	169,662,000	169,224,704	0	437,296	99.7

事業費の支出済額は124,572,198円で、前年度と比較して19,605,280円（18.7％）の増である。この主な内容は、合併浄化槽清掃維持管理業務委託料及び合併処理浄化槽設置工事費である。
公債費の支出済額は44,652,506円で、償還元金41,553,708円、償還利子3,098,798円である。
予算流用は3件で、40,470円であった。

土地区画整理事業換地清算特別会計

土地区画整理事業換地清算特別会計は、土地区画整理事業の換地清算するための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	691,000	694,717	689,904	4,813	100.5	99.8
１８年度	967,000	965,416	965,416	0	99.8	99.8
比較増減	-276,000	-270,699	-275,512	4,813	0.7	0.0
増減率	-28.5	-28.0	-28.5	皆増	－	－

当年度の決算額は、歳入694,717円、歳出689,904円、歳入歳出差引額4,813円となっている。
前年度と比較して歳入270,699円（28.0％）、歳出275,512円（28.5％）それぞれ減となっている。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
使用料及び手数料	2,000	80	80	0	0	100.0
諸　　収　　入	689,000	694,637	694,637	0	0	100.0
歳　入　合　計	691,000	694,717	694,717	0	0	100.0

使用料及び手数料の収入済額は80円で、これは督促手数料である。
諸収入の収入済額は694,637円で、前年度と比較して270,699円（28.0％）の減となっている。この主な内容は、長崎地区及び東能代駅前地区換地清算金収入である。

②歳出　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
都　市　計　画　費	691,000	689,904	0	1,096	99.8

都市計画費の支出済額は689,904円で、前年度と比較して275,512円（28.5％）の減となっている。この内容は、長崎地区換地清算交付金及び東能代駅前地区換地清算繰出金である。

浅内財産区特別会計

浅内財産区特別会計は、浅内財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	16,118,000	16,194,046	15,914,047	279,999	100.5	98.7
１８年度	2,417,000	3,030,440	2,217,091	813,349	125.4	91.7
比較増減	13,701,000	13,163,606	13,696,956	-533,350	-24.9	7.0
増減率	566.9	434.4	617.8	-65.6	－	－

当年度の決算額は、歳入16,194,046円、歳出15,914,047円、歳入歳出差引額は279,999円となっている。前年度と比較して歳入13,163,606円（434.4％）、歳出13,696,956円（617.8％)それぞれ増となっている。これは、浅内小学校グラウンド整備事業に伴う財産区基金繰入、一般会計への繰出金によるものである。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県支出金	267,000	294,401	294,401	0	0	100.0
財産収入	1,814,000	1,862,316	1,862,316	0	0	100.0
繰入金	13,186,000	13,186,000	13,186,000	0	0	100.0
繰越金	813,000	813,349	813,349	0	0	100.0
諸収入	38,000	37,980	37,980	0	0	100.0
歳入合計	16,118,000	16,194,046	16,194,046	0	0	100.0

県支出金の収入済額は294,401円で、森林環境保全整備事業費補助金である。

財産収入の収入済額は1,862,316円で、前年度と比較して302,082円（19.4％）の増となっており、この主な内容は土地貸付収入である。

繰入金の収入済額は13,186,000円で、財産区基金繰入金である。

諸収入の収入済額は37,980円で、前年度と比較して1,047,390円（96.5％）の減であり、主な要因は、森林整備地域活動支援交付金がなくなったことによるものである。

②歳出　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管　理　会　費	271,000	172,755	0	98,245	63.7
総　　務　　費	1,647,000	1,541,292	0	105,708	93.6
諸　支　出　金	14,200,000	14,200,000	0	0	100.0
歳　出　合　計	16,118,000	15,914,047	0	203,953	98.7

管理会費の支出済額は172,755円で、この主な内容は財産区管理委員報酬である。

総務費の支出済額は1,541,292円で、前年度と比較して322,618円（26.5％）の増となっている。この主な内容は、一般管理費の旅費、使用料及び賃借料や財産管理費の下刈作業委託料である。

諸支出金の支出額は14,200,000円で、この内容は、浅内小学校グラウンド整備事業費へ繰出したものである。

予算流用は2件で、44,180円であった。

常盤財産区特別会計

常盤財産区特別会計は、常盤財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	2,498,000	2,524,045	2,296,388	227,657	101.0	91.9
１８年度	2,631,000	4,573,779	2,455,152	2,118,627	173.8	93.3
比較増減	-133,000	-2,049,734	-158,764	-1,890,970	-72.8	-1.4
増減率	-5.1	-44.8	-6.5	-89.3	―	―

当年度の決算額は、歳入2,524,045円、歳出2,296,388円、歳入歳出差引額は227,657円となってている。前年度と比較して歳入2,049,734円（44.8％）、歳出158,764円（6.5％)それぞれ減となっている。これは、財産区基金繰入金の減によるものである。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
県　支　出　金	252,000	277,718	277,718	0	0	100.0
財　産　収　入	127,000	127,700	127,700	0	0	100.0
繰　越　金	2,118,000	2,118,627	2,118,627	0	0	100.0
諸　収　入	1,000	0	0	0	0	―
歳　入　合　計	2,498,000	2,524,045	2,524,045	0	0	100.0

県支出金の収入済額は277,718円で、これは森林環境保全整備事業費補助金である。

財産収入の収入済額は127,700円で、前年度と比較して1,858,893円（93.6％）の減となっており、この主な要因は県営林分収金の減によるものである。

繰越金の収入済額は2,118,627円で、前年度繰越金である。

②歳出　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管　理　会　費	238,000	183,030	0	54,970	76.9
総　　務　　費	1,707,000	1,561,132	0	145,868	91.5
積　　立　　金	508,000	508,000	0	0	100.0
諸　支　出　金	45,000	44,226	0	774	98.3
歳　出　合　計	2,498,000	2,296,388	0	201,612	91.9

管理会費の支出済額は183,030円で、この主な内容は財産区管理委員報酬である。

総務費の支出済額は1,561,132円で、前年度と比較して535,950円（25.6％）の減となっている。この主な内容は、管理委員現地調査の報酬、下刈作業委託料である。

積立金の支出済額は508,000円で、財産区基金積立金である。

諸支出金の支出済額は44,226円で、天内自治会交付金である。

予算流用は1件で、22,240円であった。

鶴形財産区特別会計

鶴形財産区特別会計は、鶴形財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、％）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	1,356,000	1,356,727	1,202,710	154,017	100.1	88.7
１８年度	1,177,000	1,184,107	951,762	232,345	100.6	80.9
比較増減	179,000	172,620	250,948	-78,328	-0.5	7.8
増減率	15.2	14.6	26.4	-33.7	―	―

当年度の決算額は、歳入1,356,727円、歳出1,202,710円、歳入歳出差引額は154,017円となっている。前年度と比較して歳入172,620円（14.6％）、歳出250,948円（26.4％）、それぞれ増となっている。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、％）

区　　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財　産　収　入	152,000	153,382	153,382	0	0	100.0
繰　　入　　金	971,000	971,000	971,000	0	0	100.0
繰　　越　　金	232,000	232,345	232,345	0	0	100.0
諸　　収　　入	1,000	0	0	0	0	―
歳　入　合　計	1,356,000	1,356,727	1,356,727	0	0	100.0

財産収入の収入済額は153,382円で、前年度と比較して24,197円（18.7％）の増となっておりこの主な内容は土地貸付収入である。

繰入金の収入済額は971,000円で、前年度と比較して435,000円（81.2%）の増であり、これは基金繰入金である。

繰越金の収入済額は232,345円で、前年度繰越金である。

②歳出　（単位：円、%）

区　　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管　理　会　費	143,000	96,900	0	46,100	67.8
総　　務　　費	1,213,000	1,105,810	0	107,190	91.2
歳　出　合　計	1,356,000	1,202,710	0	153,290	88.7

管理会費の支出済額は96,900円で、これは財産区管理委員報酬である。

総務費の支出済額は1,105,810円で、前年度と比較して374,848円（51.3%）の増となっており、これは一般管理費の旅費、財産管理費の賃金である。

檜山財産区特別会計

檜山財産区特別会計は、檜山財産区の財産管理を行うための特別会計である。

1　決算規模

（単位：円、%）

区　分	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	予算執行率	
					歳入	歳出
１９年度	5,691,000	5,711,550	5,515,397	196,153	100.4	96.9
１８年度	4,346,000	4,354,756	1,809,557	2,545,199	100.2	41.6
比較増減	1,345,000	1,356,794	3,705,840	-2,349,046	0.2	55.3
増減率	30.9	31.2	204.8	-92.3	―	―

当年度の決算額は、歳入5,711,550円、歳出5,515,397円、歳入歳出差引額は196,153円となっている。前年度と比較して歳入1,356,794円（31.2%）、歳出3,705,840円（204.8%）、それぞれ増となっている。これは、繰越明許した大台線作業道擁壁設置工事費によるものである。

2　予算の執行状況

①歳入　（単位：円、%）

区　　分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率
財　産　収　入	843,000	864,301	864,301	0	0	100.0
繰　入　金	2,287,000	2,287,000	2,287,000	0	0	100.0
繰　越　金	2,545,000	2,545,199	2,545,199	0	0	100.0
諸　収　入	16,000	15,050	15,050	0	0	100.0
歳　入　合　計	5,691,000	5,711,550	5,711,550	0	0	100.0

財産収入の収入済額は864,301円で、前年度と比較して790,689円（1,074.1%）の増となっており、この主な要因は土地売払収入の増によるものである。

繰入金の収入済額は2,287,000円で、前年度と比較して1,005,000円（30.5%）の減であり、これは基金繰入金である。

繰越金の収入済額は2,545,199円で、前年度繰越金である。
諸収入の収入済額は15,050円で、立木伐採補償金である。

②歳出

区　　分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
管　理　会　費	295,000	245,224	0	49,776	83.1
総　　務　　費	3,618,000	3,493,033	0	124,967	96.5
諸　支　出　金	1,778,000	1,777,140	0	860	99.9
歳　出　合　計	5,691,000	5,515,397	0	175,603	96.9

管理会費の支出済額は245,224円で、この主な内容は、財産区管理委員報酬である。
総務費の支出済額は3,493,033円で、前年度と比較して1,998,196円（133.7%）の増となっている。この主な内容は、前年度より繰越明許費として繰り越された、大台線作業道擁壁設置工事費の一部2,302,650円である。
諸支出金の支出済額は1,777,140円で、この内容は、赤坂自治会交付金である。